

学校だより

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/kurama-s>

夢をもち かっこいい姿いっぱいの 鞍馬校
～つながる力 つなげる力の育成～

令和6年度 学校アンケート臨時号 京都市立鞍馬小学校
〒601-1111 京都市左京区鞍馬本町632 TEL:741-2006 FAX:741-2174

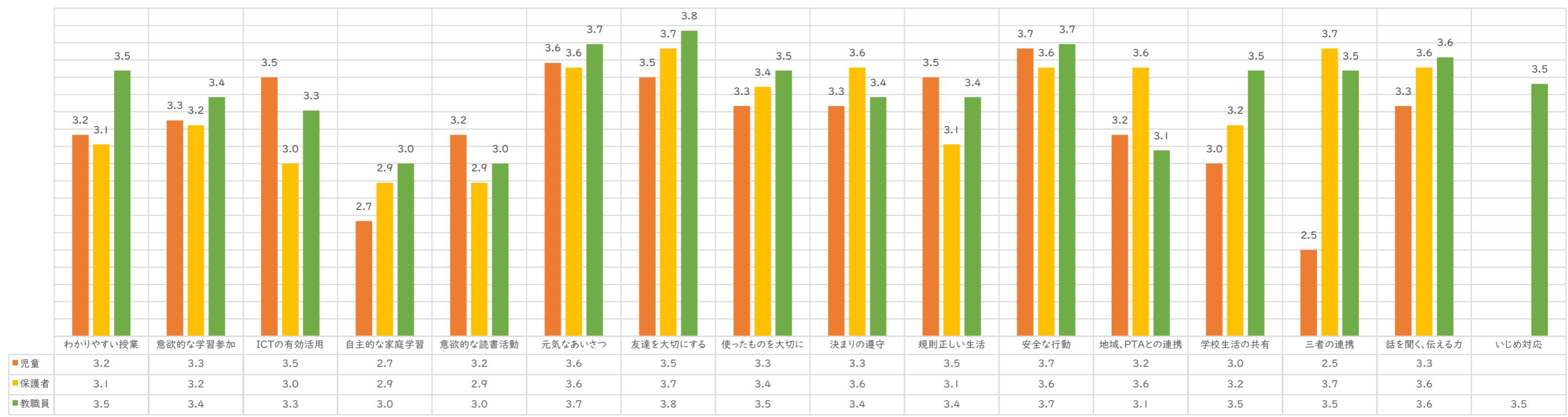


毎日HPを更新しております。
ぜひご覧ください!



秋晴の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、1学期末にいただきました学校アンケートの結果についてご報告いたします。児童・保護者・教職員のアンケート項目を関連付け実施いたしました。この結果から見えてきた成果と課題についてまとめました。ここで明らかになったことを見据えて、今後もよりよい教育活動にあたっていきたいと思います。

	項目内容	児童	平均	保護者	平均	教職員	平均
1	わかりやすい授業	授業がわかりやすいですか	3.2	わが子は授業がわかりやすいといっている	3.1	基礎・基本の定着を図る工夫を実施している	3.5
2	意欲的な学習参加	家や学校で進んで学習に取り組んでいますか	3.3	わが子は意欲的に学習に取り組んでいる	3.2	意欲を引き出す授業の実践をしている	3.4
3	ICTの有効活用	GIGA 端末を使った学習はわかりやすいですか	3.5	わが家では子どもパソコンやスマートフォンの使用的ルールを決め、マナーについて話し合っている	3.0	GIGA 端末を効果的に活用し授業をすすめている	3.3
4	自主的な家庭学習	家で自分から進んで予習・復習などの自主学習をしていますか	2.7	わが家では、家庭学習の習慣が定着するよう働きかけている	2.9	家庭学習の習慣を身につける実践をしている	3.0
5	意欲的な読書活動	本を進んで読んでいますか	3.2	わが家では読み聞かせをしたり、読書をうながしたりしている	2.9	読書の習慣化を働きかけている	3.0
6	元気なあいさつ	自分から進んで元気にあいさつをしていますか	3.6	わが家では進んであいさつするようにしている	3.6	自分から進んで元気にあいさつかができるように働きかけている	3.7
7	友達を大切にする	友達を大切にし、仲良くしていますか	3.5	わが家では友達を大切にし、仲良くするよう声かけをしている	3.7	子どもたちが仲良くできるような働きかけに取り組んでいる	3.8
8	使ったものを大切に	物を大切にし、使った物はもとの場所にもどしていますか	3.3	わが家では物を大切にし、後始末をするように働きかけている	3.4	物を大切にし、使ったものはもとの場所に戻すように指導している	3.5
9	決まりの遵守	学校やクラスのきまりを守事ができていますか	3.3	わが家では子どもにきまりや約束の大切さを伝えている	3.6	きまりや約束について考えられるようにしている	3.4
10	規則正しい生活	早寝・早起きをし、朝ご飯を食べて学校に来ていますか	3.5	子どもに早寝・早起き・朝ご飯など、規則正しい生活ができるようにしている	3.1	望ましい生活習慣を実践できるように働きかけている	3.4
11	安全な行動	学校でも地域でも安全に気をつけて行動していますか	3.7	子どもが安全に気をつけて行動できるように声かけをしている	3.6	安全に行動できるように働きかけている	3.7
12	地域、PTAとの連携	地域のお祭りやPTAの行事などに、進んで参加していますか	3.2	わが家では、学校・PTA行事や地域の行事などに積極的に参加している	3.6	児童に地域・PTA行事に参加するように働きかけている	3.1
13	学校生活の共有	学校のことを家で話していますか	3.0	わが家では各種たよりやホームページ等で学校の様子を知ろうとしている	3.2	学級たよりやホームページで学校の様子を伝えている	3.5
14	三者の連携	困った事があったら先生や家族に相談していますか	2.5	気になることがあれば学校に相談できる	3.7	児童の様子について保護者や教職員と共有している	3.5
15	話を聞く、伝える力	話を最後まで聞いたり、自分の考えを友達に伝えたりしていますか	3.3	わが家では子どもが話やすい雰囲気を作るようにしている	3.6	話を最後まで聞いたり、自分の考えを伝えたりできるようにしている	3.6
16	いじめ対応					いじめ防止について組織対応に努めている	3.5



分析・考察…「あてはまる」を4点、「ややあてはまる」を3点、「あまりあてはまらない」を2点、「あてはまらない」を1点として集計し、平均値を記載しています。3.3以上をおおむね良好、3.0以下を課題がある項目と判断しています。

考察と今後の取組



1 『わかりやすい授業』

児童	3.2
保護者	3.1
教職員	3.5

教職員が3.5という結果になっています。どの学年も実態に合わせた小規模、少人数の授業展開を進め、基礎基本の定着を図れるように授業の工夫をしています。

しかし、児童、保護者の結果と少し差があり、授業改善の余地がまだあるようになります。今後もさらに「わかりやすい授業」を目指して工夫を重ねてまいります。

2 『意欲的な学習参加』

児童	3.3
保護者	3.2
教職員	3.4

授業時の積極的な発表や、興味をもったことについて、意欲的に調べたりまとめたりする姿がよく見られました。また放課後まなび教室でも、自分でやろうと決めた課題に取り組んでいました。

「わかる楽しさ」「学ぶ楽しさ」を引き出すような学習活動を展開することで、学校でも家庭でも意欲的に学習に向かうことができます。今後も継続して意欲的に学習に向かう気持ちを高めていきたいと思います。

3 『ＩＣＴの有効活用』

児童	3.5
保護者	3.0
教職員	3.3

一人一台のGIGA端末が使われるようになってから4年が経ちました。授業の中でもネットワークを活用した学習、他の小学校とのリモート交流など有効な活用ができるようになりました。授業時での活用と伴って、児童の操作技能も活動意欲もずいぶんと高まっています。

本校ではGIGA端末を自宅に持ち帰って学習にいかすということがあまりできていません。ご家庭で児童が自身の学びに有効に活用する姿を保護者にお伝えできていないことが少し低めの結果につながっていることが考えられます。

今後、GIGA端末を持ち帰り、有効な学びの道具として使えるような手立てを検討したいと思います。現代社会において、ICTから離れた生活を送ることは困難になっており、次代を担う子どもたちにとっては、ほぼ必須のスキルとも言えます。小学校での学習活動を通して、ICTスキルを高めるとともに、ご家庭でもパソコンやスマートフォンなどの機器の正しい使い方を伝えたり、決まりを作ったりして適切な使い方を身に付けられるようにご協力をお願いいたします。

4 『自主的な家庭学習』

児童	2.7
保護者	2.9
教職員	3.0

児童、保護者とも3.0を下回り、アンケート結果からは進んで家庭学習に取り組めていない様子が見られます。昨年度も同様の結果で、本校の課題の一つと考えています。

昨年度より、教職員から出す課題に取り組むのではなく、自分で課題を見つけて、自主学習ノートに取り組むような形にシフトチェンジを進めています。学年によって違いはありますが、自分の課題を真摯に受け止め、それに向かって取り組む力は確実に高まっていると思います。

学習状況としては、教師や保護者の方からの声かけがあると取り組めますが、「自分から進んで取り組む」ということに課題があるようになります。また、「与えられた課題を提出する」という考え方から「自分のためにやるべきことを選んで学習する」という意識の変革が求められているように感じます。

一方で、放課後まなび教室や今年度から開設された「めぐみ広場」で学習を済ませ、「家庭で」学習をしていないため、このような結果につながったのかもしれません。今後は家庭でも時間を決めて学習する習慣を身につけられるように、学校でもはたらきかけていきますのでご家庭でもご協力お願い致します。

5 『意欲的な読書活動』

児童	3.2
保護者	2.9
教職員	3.0

保護者をはじめ、全体的にやや低めの結果となりました。ここ数年、読書活動においてはあまり良い結果とはならず、本校の課題の一つと考えています。児童としては、朝読書など決められた時間にはしっかりと取り組めているため、「できている」という結果につながったのだと思います。しかし、休み時間やご家庭での生活の中で、自分から読書に向かう様子があまり見られないことが保護者、教職員の結果につながったことが考えられます。

テレビやパソコン、スマートフォンなどの画像・動画配信の視聴による「活字離れ」が進んでいると言われています。読書活動を豊かにすることで、読解力、語彙力、文章構成力、想像力など、児童にとって大きな学びとなることは間違ひありません。

学校では、担任や図書館司書による図書指導や本の紹介、総合学習室の本の紹介コーナーの設置など様々な取組をしています。また毎月1回、移動図書館の「こじか文庫」で図書館の本の貸し出しができます。朝読書を中心に、読書ノートを活用しながら「本を読む楽しさ」を感じられるようにしたいと思います。

6 『元気なあいさつ』

児童	3.6
保護者	3.6
教職員	3.7

児童、保護者、教職員とも極めて良い結果が出ています。登校時、児童から先に「おはようございます。」と言えるようになってきました。また、来校者があつた時にきちんとあいさつができたり、学校の修理などに来られた業者の方に「ありがとうございます。」と言ったりする姿も見られました。

あいさつはコミュニケーションの基本です。引き続き明るく元気なあいさつができるように声をかけたいと思います。

7 『友達を大切にする』

児童	3.5
保護者	3.7
教職員	3.8

児童、保護者、教職員とも極めて良い結果が出ています。学校では、毎週の全校遊びや、毎月初めに人権意識を高めるためにここに学習など、周りの人を大切にする取組を行っています。休み時間や放課後の様子でもみんな一緒に遊んでいる姿が多く見られました。

今年度から給食は全校一緒に食べ、掃除はたてわりグループで活動をするようになりました。引き続き仲良く過ごす子どもたちの様子を見守っていきます。

8 『使ったものを大切に』

児童	3.3
保護者	3.4
教職員	3.5

児童、保護者、教職員ともおおむね良い結果が出ています。児童、保護者、教職員とも全員が3点もしくは4点をつけていました。校内の物品の整理整頓ができており、児童もそれに倣ってきれいに片づけができます。大人がない場面でも自主的にごみを片付けたということもありました。

みんなが使うものだけでなく、自分が使うものもきちんと整理整頓し、大切に使える意識をさらに高めたいと思います。

9 『決まりの遵守』

児童	3.3
保護者	3.6
教職員	3.4

児童、保護者、教職員ともおおむね良い結果が出ています。ご家庭で子どもたちに約束の大切さを伝えていることが大きな要因になっていると感じます。そしてそれを聞いて育った子どもたちが、周りの大人に声をかけられる前にやるべきこと、やってはいけないことの判断ができつつあります。

時には廊下を走ったり、時間に遅れたりすることも見られます。善悪の判断を正しくできる力を今後も高めたいと思います。

I O 『規則正しい生活』

児童	3.5
保護者	3.1
教職員	3.4

日々の学校生活の様子から、「早寝、早起き、朝ご飯」を中心とした生活習慣は安定しているように感じられます。保護者の結果が児童、教職員よりも少し低くなっています。学校では見られない生活習慣の乱れを保護者の方は感じているようです。

家庭での生活が大きく占める項目のため、保護者の方にお願いすることが多くなりますが、規則正しい生活習慣は、児童の健康な生活、学習への集中に大きく影響します。ご協力よろしくお願ひします。

I I 『安全な行動』

児童	3.7
保護者	3.6
教職員	3.7

児童、保護者、教職員とも極めて良い結果が出ています。9『決まりの遵守』同様、自分で考え、適切な判断で安全な行動をとれているように思います。

ただ、歩道のない道路、電車による通学、野生動物など日々の生活の中に常に危険なことがあります。学校でも登下校の見守りなどに取り組んでいます。保護者だけでなく、地域の方々も日々の登下校や地域での生活をいつも見守ってください、ありがとうございます。

I 2 『地域、PTAとの連携』

児童	3.2
保護者	3.6
教職員	3.1

鞍馬小学校ではたくさんの地域行事、PTAによる活動が実施されています。保護者、地域の方の力強いサポートで学校教育がよりよいものとなっています。本当にありがとうございます。

6月に実施された貴船祭や竹伐り会式など地域行事にも参加させていただき、地域の伝統文化に触れ合うことができました。今後も児童がさらに地域に目を向けられるように声をかけ続けたいと思います。

I 3 『学校生活の共有』

児童	3.0
保護者	3.2
教職員	3.5

いつも学校からのお便りやホームページをご覧いただきありがとうございます。また、「すぐーる」の配信によって個別に連絡ができるようになっています。有効に活用していただけたらと思います。

児童の結果が若干低めになっています。1点から4点まで回答が広がっており、個人差があるようです。子どもたちに学校のことを訊ねて頂く際に「今日、学校で楽しかったことは何?」「今日の国語ではどんな勉強したの?」など、内容を絞って頂くと、子どもたちも話しやすくなるかもしれません。

I 4 『三者の連携』

児童	2.5
保護者	3.7
教職員	3.5

保護者、教職員は極めて良い結果が出ています。児童の数値が低く、困ったことがあった時に先生や家族に相談できないことが懸念されたため、個別に聞き取り調査をしました。

その結果、「困っていることがなく相談することができないから、『あてはまらない』に○をつけた。もしも困ったことがあったら相談できる。」という意見ばかりでした。また、「困ったことがあっても、すぐにみんなが声をかけてくれるから、自分から相談することができない。」と言う児童もいました。

数値は低かったのですが、結果としては、極めて良好な状態であることがわかりました。今後も児童を中心に保護者、地域、教職員がしっかりと連携できるよう努めていきたいと考えています。

I 5 『話を聞く、伝える力』

児童	3.3
保護者	3.6
教職員	3.6

児童、保護者、教職員ともおおむね良い結果が出ています。小規模、少人数の学校だからこそ、どの友達とも仲良く伝え合う活動ができているのだと思います。今年度は、児童一人一人がさらに相手にわかりやすく伝える、大人数の場でもハキハキと思いを伝える力を高めるために、毎月1回「ほっともっとタイム」に取り組んでいます。1学期は発声練習を中心でしたが、2学期以降は聞く、伝える活動を進めていく予定です。

I 6 『いじめ対応』

児童	
保護者	
教職員	3.5

この項目については、教職員のみのアンケートとなっています。教職員が学校生活を見ている限りでは、学年、男女関係なく、みんな仲良く過ごしています。学校ホームページの「学校いじめの防止等基本方針」にも記載しているようにいじめの未然防止、早期発見等いじめへの対処に努めています。気になるような様子がありましたら、すぐに学校にお知らせください。

学校運営協議会 委員の皆様より

・誰一人取り残されないよう、気を配り、きめこまやかな学校生活を過ごす為の配慮がなされていると思います。明るくあいさつをして1日をはじめ、明るくあいさつをして1日が終わる学校生活が重要で、そこから学習意欲も生まれてくると思いますので、市原野校に行っても大人数に埋没することなく学校生活を送ることができると期待しています。

・概ね良好な結果が出ていると思います。ICTの取組に関して、今後ICT重視の生活になるのは確実です。端末の操作技能のスキルアップは必須ですが、保護者の看視も注意喚起が必要だと思います。考察に同感です。

・プールや体育館等、きれいに修繕していただきありがとうございました。アンケートを拝見して、児童の「学校生活の共有」と「三者の連携」が低いのが少し気になりました。現状困っていることがなさそうで、中学年・高学年にもなれば何でも話してくれるわけではないと思いますが、今後、統合に向かっていく中で、あたたかく見守っていければと思います。

保護者の皆様・学校運営協議会委員の皆様
アンケートへのご協力、ありがとうございました。



全体の振り返り・今後の取組について

児童・保護者・教職員ともにどの項目においてもほぼ3.3を上回っています。ご家庭や地域の方のご協力のおかげで、落ち着いて学校生活が送られていることがうかがえます。その中で、4『自主的な家庭学習』、5『意欲的な読書活動』が低くなってしまっており、ここ数年同じ傾向を示しています。しかしながら、自分で内容を選んで取り組む自主学習、朝読書の充実など学校での取組、常に支えてくださっている保護者、地域の方の取組によって、少しずつですが良好な結果になってきている様子も見られます。

今年度より学校教育目標を『夢をもち かっこいい姿いっぱいの 鞍馬校 ～つながる力 つなげる力の育成～』としています。子どもたちが「なりたい自分」のイメージをもち、そこに向かって取り組む姿を家庭、地域、学校で応援し、支えていきたいと思います。今後とも、ご協力よろしくお願い致します。